

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第736号（令和七年六月号）

- ・表紙：「青蛙」
- ・来月号（七月号）の兼題



<季語：青蛙（三夏・動物）、子季語：森青蛙>

- ・カエル目アオガエル科の両生類のうち一般に表面が緑色をした蛙の総称。本州、四国、九州の丘陵や平野の水辺に棲息。体長四～八センチとやや大きい。正確には雨蛙とは別種であるが、多くの場合に混同される。

「有名俳人の句」

- ・梢から立小便や青がへる 小林一茶
- ・青蛙おのれもペンキぬりたてか 芥川龍之介
- ・青蛙ぱつちり金の臉かな 川端茅舎
- ・青蛙喉の白さを鳴きにけり 松根東洋城
- ・酒なければ飯すぐすみぬ青蛙 森 岩雄

☆高得点者および高得点句

*前月の清記表に記載された11名の55句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

<高得点者(敬称略)>

14点 穂心、13点 勝、13点 温州、10点 碧亥

<高得点句(4点以上)>

- ・もう誰も起こしてくれぬ朝寝かな／勝・・・・・・・・7点
- ・火は山を舐めて風呼ぶ竜天に／穂心・・・・・・・・7点
- ・改札をフリーパスする初燕／温州・・・・・・・・5点
- ・つばめ来る古き町屋の軒深し／恵吾・・・・・・・・5点
- ・囀を真似て口笛吹きにけり／温州・・・・・・・・5点
- ・花吹雪見せてあげたしガザの子に／草炎・・・・・・・・4点
- ・ふらここや砂場に小さな日和下駄／碧亥・・・・・・・・4点

☆その他のトピックス

① 今月号の清記

- ・今月は11名の方が合計55句を出句されました。

② 近況報告および通信

- ・勝さん、要さん、六甲さん、碧亥さん、草炎さんからそれぞれ近況報告がありました。
- ・誠に残念ながら、体力・気力ともに回復しないということで、史浩さんから退会の申し出がありました。
- ・穂心さんから「昭和百年で考える」というテーマで随想文が投稿されました。その中で、柑芦会創立百周年になる来年、和歌山市で開催される「百周年記念式典」に参加しようと呼びかけられています。

<俳句の会「芦火」概要>

- ・会員は柑芦会会員
- ・現在の会員は大学3期卒から25期卒の11名
- ・昭和38年(1963年)結成・・・約60年の歴史
- ・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
- ・創刊以降毎月発刊。令和4年(2022年)6月に第700号発刊。
- ・50号ごとに句誌を発刊。令和4年5月に「芦火第14号句集」発刊
- ・創刊時からの延べ会員数、72名(高商32名、高商教授1名、大学39名)

<編集者・コンタクト先および会費>

- ・編集者：穂永 千秋(大学17期)(俳号：穂心)
メールアドレス：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
- ・その他のコンタクト先：
 - ・山下 勝(大学14期・前編集者)(俳号：勝)
メールアドレス：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
 - ・平林 義康(大学20期)(俳号：温州)
メールアドレス：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
- ・会費：年会費1万2千円

以上
(文責：平林 温州)